

第 63 回全日本スキー技術選手権大会に関する加盟団体からの質問事項 & 回答一覧

SAJ 教育本部技術選運営部

2026 年 2 月 17 日付

質問内容	回答
<p>第 63 回全日本スキー技術選手権大会のコマーシャルマーキングに関して、FIS 規約に記載がなく判断できなかっため質問します。</p> <p>全日本スキー技術選手権大会運営細則 P5『(2)ウエアについて ⑤…ウエア製造者識別表示以外の、スキー・SB 競技用品ブランドのマーキングは不可とする』とあるが、<u>ワックス商品のシールをウエア(ヘルメット)に貼つてもいいか?</u>という質問です。全日本スキー技術選手権大会運営細則 P6(3)コマーシャルマーキングの業種については、特にワックス商品を貼ってはいけないと記載がない。</p>	<p>現段階においては、ワックスメーカー様の OS 登録が無い状況下であるため、コマーシャルマーキングとしてヘルメット・ウェアに ワッペン・シール等を貼付してもかまいません。</p>
<p>選手応援用「のぼり旗」について、選手氏名以外に企業名等を入れても良いか？？</p>	<p>全日本スキー技術選手権大会運営細則 P4(コマーシャルマーキング)と同様の扱いとします。従って、企業/店舗/スキースクール/スキークラブ/所属スキー連盟/応援団等の名称は可能とし、法人以外でも可能とする。スキー/ブーツ/ビンディング/ウェア/ゴーグル/ヘルメット/グローブ/ポールのメーカー・ブランド・モデル名・ロゴ等を入れることは認めません。</p> <p>また、第 63 回大会は「のぼり旗」の本数の制限は致しませんが、第 64 回大会以降は1選手に対する「のぼり旗」の数の上限(1コートにつき 5 本程度)を検討します。</p>
<p>使用するスキー板について、例えばファットスキーインチップなど(深雪だった場合の対策のため)市販品で改造していないスキー板であれば技術選での使用は可能でしょうか？マテリアルチェックで問題ないでしょうか？ホームページ等確認し、ウエア等についての掲載はありますが、スキーの板については、市販で改造されていないものというような記載だったので質問させて頂きます。アルペン競技だと、センター幅が 65 ミリ以下、ビンディング高さの制限等がありますが、技術選については規制はないのでしょうか？</p>	<p>市販品で改造していないスキー板であれば、現状規則では「可能」です。しかし、全日本技術選においては、登録するスキーは 2 台(ロング用、ショート用)ですので、どんな雪質であっても、登録したスキーで滑走する事になります。また、トレーニング中に破損や盗難などにあっても、同じスキーでなければ基本的に交換を認めません。更に、大会バーンのセッティングにつきましては、不整地種目を除き、ハードパックを前提としてコースセッティングします。SAJ ホームページ等に掲載している各種目の観点では、アルペンスキーを前提としたターンサイズです。ファットスキーでの滑走は想定しておりません。</p>

<p>2月18日提出期限の正選手登録書式にて、登録したマテリアル(スキー板)について、変更の可能性があります。</p> <p>変更になった場合の手続きにつきまして、ご教示賜りますようお願い申し上げます。</p>	<p>大会時に使用するマテリアル(スキー板)については、ステッカーを貼付して頂きます。貼付するステッカーの配布は大会直前となります。(後日スケジュールを大会ホームページに掲載いたします)</p> <p>ステッカー貼付前に登録したマテリアル(スキー板)を変更する場合は、正選手登録書式の提出先へ変更の連絡をして下さい。</p> <p>ステッカー貼付後に登録したマテリアル(スキー板)を変更する場合は、大会本部にて手続きが必要になります。その際は、大会本部まで連絡して下さい。但し、原則として盗難やトレーニング中の破損以外認められませんのでご注意下さい。</p>
<p>リフト券購入について質問です。</p> <p>2月下旬から選手が合宿で現地滞在するのですが、リフト券の割引はないのでしょうか？</p>	<p>リフト券につきましては、割引対象期間を3/3(火)～8(日)としております。対象期間以外につきましては、割引はございませんので、通常料金でのご購入をお願いいたします。</p> <p>なお、加盟団体(監督・監督代理)宛てに、リフト券購入について、近日中に専用用紙を送付致します。</p>